

議長を除く全議員で構成される予算特別委員会(山田春男委員長、西田浩・碓氷芳雄・豊島岩白・三宅正明各副委員長)において、延べ95人の委員が、平成26年度一般会計予算など60議案について活発な質疑を行い、慎重に審査を重ねました。その審査における主な質疑と答弁を掲載します。

自民党・保守クラブ

(学校、地域、家庭の連携)

問 地域の見守り隊への協力に対し、感謝の気持ちをどう表すのか。

答 学校では、感謝する会などを開いているが、日頃から教職員が見守り活動者に感謝の気持ちを表すことが大切である。

(国の制度改革への対応)

問 学習指導要領が大きく変わると推察されるが、どう準備するのか。

答 今後、国の動向を十分踏まえながら、幅広い視点から検討を行い、準備していきたくと考えている。

(いじめ対策は子どもの立場で)

問 いじめ対策は、子どもの側に立つて当事者意識を共有し対処すべきでは？

答 教育委員会と学校は、常に「我が子であれば」との意識を持ち対応しており、今後もその意識で取り組む。

(健診自己負担額の引き下げ)

問 検診率向上のためワンコイン化されるが、医療費の抑制等の視点が必要では？

答 今後、本市の診療報酬明細書や特定健康診査の結果データなどを分析し、特定健康診査の実施による効果を検証したい。

(介護保険制度の視点)

問 在宅介護のインセンティブ、介護予防の推進の視点を持つべきでは？

答 他都市の先進的な取り組みについて調査し、次期高齢者施策推進プランを策定する中で、検討していききたい。

(入所申請手続きの前倒し)

問 保育園の入所申請手続きを前倒しし、保護者に早く結果をお知らせすべきでは？

答 2月以前に入園決定している都市もあることから、他都市の入園決定に至る手続きを調査し、検討したい。

(広島市民4病院の独法化後)

問 患者の信用が第一であり、コンプライアンスの組織体制はどうなっているか。

答 法人化後も、市と同様の規定の整備や懲戒処分等の標準例の作成、研修等により、職員の法令遵守意識の向上に取り組む。

(景観計画を問う)

問 計画の策定は市民生活に直結するが、その説明責任をどう考えるのか。

答 公開での景観審議会の審議や市民意見募集、全区での説明会の実施など説明責任は果たしてきたと考えている。

(西風新都の都市づくり推進)

問 交通のスマート化の推進を継続するならば、まずは議会での議論が必要では？

答 今後検討を進める中、ある程度まとまった段階で議会に報告し、幅広い議論をいただきながら取り組んでいきたい。

(広島駅南口広場の整備)

問 駅前大橋ルート高架案を進めようとする理由はどこにあるのか。

答 高架案は乗り換え利便性の向上等となる沿線の利便性の確保を検討していく必要がある。今後、できるだけ早期に地元の意向にも沿えるような基本方針を決定したい。

(アストラムラインの延伸ルートや事業化)

問 市民や議会は「まだ西広島ルート

自由民主党

(小中連携による学力向上)

問 「基礎・基本」定着状況調査の結果が悪いが、連携によりどう向上させるのか。

答 3中学校区を重点区として指定し、小中が学習指導と生徒指導の両面で連携しながら、学力向上を図る。

(発達障害の児童・生徒への対応)

問 障害の疑いがある児童に対し、専門機関の受診を勧めてはどうか。

答 医療機関を勧めるにあたり、保護者の思いを受け止め、作成した個別の指導計画を提示し連携を深めていくことが大切である。

(今後の高齢者施策)

問 介護保険制度改正を踏まえ、どういうことを重点に進めていくのか。

答 介護、医療、生活支援、介護予防等が一体的に展開できる地域包括支援システムの構築を中核に据えて取り組んでいきたい。

(県の航路補助制度対象)



似島 - 宇品航路フェリー

問 県の補助制度を活用して、以島航路の確保や事業計画の見直し(特区)の補助制度を...

成すための各種の研修や訓練を引き続き実施するとともに、さらなる防災意識の高揚に努める。
(技術系職員の採用)
問 今後、技術系職員の計画的な採用を行う必要があると思うが、どうか。
答 政令指定都市移行時に大量採用した職員の退職時期を迎えることから、計画的な職員の採用を行う必要があると考えている。
(被爆樹木の種の配布、「平和の灯」の分火)
問 平和首長会議での取り組み内容、送付数を教えてほしい。
答 被爆樹木の苗木を国内50都市、海外16都市、「平和の灯」を国内3都市、海外7都市に送付する予定である。
(団地の交通弱者対策)
問 高齢者公共交通機関利用助成の代替として乗合タクシー等の支援をしては？
答 移動支援等日常生活支援が必要な高齢者が増加する中、限られた財源を有効活用し、関係部局が連携して支援策を検討したい。

市民連合

(共に支え合う社会の実現に向けて)

問 特別支援学級と通常学級の交流増加を図るべきだと思いが、どうか。

答 児童生徒の障害の状態等を考慮して、交流の機会を可能な限り設定しており、今後とも交流の時間の確保に努める。

(各病院の特色を出すべき)

問 市立病院の連携と併せて各病院の特色をより発揮してほしいが、どうか。

答 一つの病院群として、効率的、効果的な病院運営を行い、各病院の特色ある病院機能の向上に取り組んでいく。

(保育士が働き続けられる環境整備を)

問 保育士の労働条件の改善等、保育職場の環境整備を進める決意を聞きたい。

答 保育士自身も子どもを育てながら働くことが重要だと考えており、一層の実態把握に努めながら、適切に対応したい。

公明党

(新しいタイプの高校の整備)

問 新しいタイプの学校とは、どのような学校を考えているのか。

答 生徒の可能性を最大限に伸ばすとともに、社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育成することができるといえるタイプの高校を考えている。

(児童虐待相談窓口を全区役所に)

問 児童虐待相談窓口の全区役所への設置についてどのように考えているか。

答 今後3年間で相談窓口を全区に設置する予定である。

(待機児童対策)

問 潜在保育士の掘り起こしも必要だが、対策は何かあるのか。

答 県保育士人材バンクが把握する潜在保育士に対して、合同就職説明会等の情報提供を行うほか、ハローワークとの連携を密にする。

(障がい者就労施設支援)

問 障がい者就労施設からの物品調達を、来年度以降、どのように行うのか。

答 より一層、就労支援に努めることが重要だと考えている。本年度以上の目標を掲げ、一層の調達推進に努めていく。

(植物公園整備)

問 施設の老朽化が進んでいる状況に対し、どのような取り組みを行っているのか。

答 「花と緑の広島づくり」の拠点施設としての機能の向上を図るため、大温室の改修等の取り組みを進めている。



植物公園

(メセコン施設の早期整備を)

問 メセコン整備促進のため、企業が提案しやすい環境づくりも必要ではないか。

答 PFI事業者の選定において提案

用語解説

本文中に赤文字で表記した用語を解説しています。



インセンティブ

モチベーションを上げるもの。誘因。

コンプライアンス

法令遵守。

「基礎・基本」定着状況調査

県内全公立小・中学校および特別支援学校小・中学部の児童生徒を対象に、学習内容の定着状況や生活と学習に関する意識・実態などを調査。県教育委員会が実施。

供木運動

昭和32年から33年の2年にわたり、広島県下に樹木の提供を呼びかけた運動。「広島」の地を永遠の緑でおおわれた平和郷に」と呼びかけ、県内各地の市町村などから、約6千本の樹木が寄せられた。

セルフネグレクト

一人暮らしなどの高齢者で、生活に関する能力・意欲が低下し、自分で身の回りのことができないなどのために、客観的に見ると本人の人